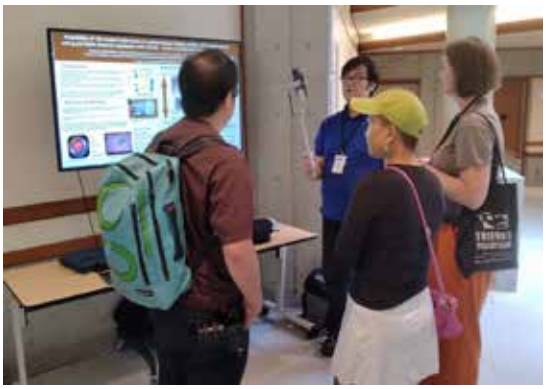
Lecture series No.164

シンポジウム

博物館や地域における3Dデータの現在・未来

2024年12月1日（日）13時00分～15時30分（開場12時30分）
京都大学総合博物館 北館3階 講演室

2022年の博物館法改正によって、博物館には電磁的記録を保管することが求められた。その中で、注目すべき技術として、3Dモデルの活用が挙げられる。本シンポジウムでは、「博物館や地域における3Dデータの現在・未来」というテーマで、3Dデータの現在を確認するとともに、今後の博物館や地域での活用について検討する。

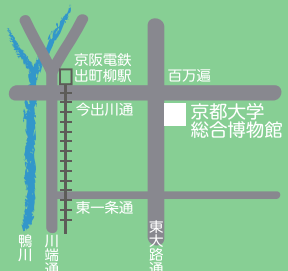


＜申し込み＞
不要です。直接博物館へお越しください。

＜参加費＞
無料です。
ただし入館の際に博物館の観覧料が必要です。

＜定員＞
70名
満席の場合はご参加いただけないことがありますのでご了承ください

画像　左上：飛騨みやがわ考古民俗館３Ｄデータ化合宿（2023）　左中：Cork　左下：2025SPNHC学会発表　右上：カキノハグサphotogrammetry　右下：徳島県勝浦町で発見された白亜紀脊椎動物（2023）



京都大学総合博物館
〒606-8501　京都市左京区吉田本町
tel 075-753-3272
URL https://www.museum.kyoto-u.ac.jp
アクセス
京阪電車「出町柳駅」より徒歩約15分
市バス停留所「百万遍」より徒歩約2分
※駐車場がありませんので、
公共交通機関をご利用ください

＜お問い合わせ＞
3Dデータシンポジウム事務局
（問い合わせフォームアドレス）
https://x.gd/4NNLB
※右QRコードからアクセスできます

主催：京都大学総合博物館
科研費基盤研究（B) JSPS:22H02708（研究代表者：髙井正成）
科研費基盤研究（C) JSPS:22K01021（研究代表者：丸山啓志）

シンポジウム

「博物館や地域における3Dデータの現在・未来」

プログラム

13:00〜13:05 開会・趣旨説明

13:05〜13:35 基調講演

「博物館と3Dデータ:集める・残すから使う・体験するへ」

野口 淳（公立小松大学）

13:35〜14：05 講演

「複合素材からなる技術史資料の3Dデータ化」

塩瀬 隆之（京都大学総合博物館）

「植物生体フォトグラメトリ〜ゆっくり形がかわっていく、薄くて細い被写体〜」

橋本 佳延（兵庫県立人と自然の博物館）

14：05〜14：10 休憩

14：10〜14：40 講演

「お手軽3Dスキャンで、3Dデータが身近に」

丸山 啓志（千葉県立中央博物館）

「3Dモデルが地域の活性化，学習機会に何をもたらすか　一古生物学を例に一」

荻野 慎諧（和歌山県有田川町）

14：40〜14：50 休憩

14：50〜15：20 質疑応答・総合討論

司　　会　高井 正成（京都大学総合博物館）

パネリスト 野口 淳・塩瀬隆之・橋本佳延・丸山啓志・荻野慎諧　（登壇順）

15：20〜15：30 まとめ

高井 正成

コンビナー　：丸山 啓志（千葉県立中央博物館）　高井 正成（京都大学総合博物館）

野口 淳

塩瀬 隆之

橋本 佳延

丸山 啓志

荻野 慎諧

高井 正成

ワークショップ

「博物館や地域における3Dデータ取扱のデモンストレーション」

日時：**12月1日（日）16：00〜17：00**

定員：**20名**（予約不要）

会場：京都大学総合博物館 北館3階 講演室

実演・実践：**LiDARスキャンの実践**
フォトグラメトリの実践
3Dプリントの作例紹介